

## 平成30年度 財団せせらぎ 助成金使用報告書

所属	早稲田大学大学院博士後期課程・ 日本女子大学	職名	院生・学術研究員	助成 金額	200,000 円
氏名	樋田有一郎				
研究や活動等のテーマ（申請書に記入した内容を記入すること。）					
地方郡部の高校生と都内大学生による都鄙間高大協働研究					
助成金の使用実績の概要（日本語で記入すること。図・グラフ等の記載は必須ではない。）					
<p>大学生調査員と高校生による都鄙間高大協働研究の費用として支出した。大学生と高校生が町を活性化するための協働探求活動を行うため、島根県立吉賀高等学校、島根県吉賀町の町職員、現地 NPO 法人との打ち合わせ費用、および、大学生調査員の活動支援のために用いた。なお、高校所在町から支援を受けた。助成金は社会貢献活動に用いることになった。</p> <p>これまで申請者が行ってきた中山間地域の高校生と都市の大学生の交流を本年度は深化させた。平成 31 年度は協働探求型の交流を行い、①島根県吉賀町内フィールド調査、②都内フィールド調査、③吉賀町地元報告会の 3 段階を通じて高校生と大学生が協働することが新しい試みとなった。</p> <p>①では、東京の大学生（法政大学、青山学院大学など）約 20 名が島根県立吉賀高校を訪問して、吉賀高校生の地域活性化への取り組み（「地域課題解決型学習」）のチューターとなった（平成 31 年 8 月）。②その後、大学生は吉賀高校生による都内訪問聞き取り調査の訪問先を提案し同行した（平成 31 年 10 月）。③さらに、意見の交換を行い高校生の地元対象報告会を支援した（平成 32 年 2 月）。</p> <p>研究者と大学生が高校生、高校教員、地元町民が島根県の高校魅力化とよばれる高校教育改革・地域活性化を行うことの支援を行った。このことはまた、大学生の社会貢献活動への支援でもあった。協働研究を通じて地域活性化の方途を探る中で、高校生は大学生の知識と視点を借りて自分の町の地域活性化を考える契機となった。大学生は高校生の知識と視点を借りて自分たちの「普通」を捉え直す。また両者は互いが変容し成長する姿を目の当たりにして自分自身の成長の機会としていることが分かった。地元地域は、活動の対象となることおよび、高校生と大学生を支援することで活性化されていた。</p> <p>協働研究についての内容を含む基礎準備的な発表を ERAS-APERA Conference 2018, Nov 12-14, 2018, National Institute of Education, Singapore, Singapore で行いその後の協働研究の計画に資する意見を得た。さらに、協働研究で得られたデータを元に、早稲田大学教育学会大会、早稲田大学、2019 年 3 月 9 日.で発表を行った。</p>					
助成金の使用金額及び使途					
<p>大学生調査員保険代他調査用雑費 70,000 円          打ち合わせ交通費 90,000 円          資料印刷代 20,000 円          関連する書籍代 20,000 円</p> <p>合計 200,000 円</p> <p>※助成金額を超えた費用に関しては、自治体からのご支援および私費でまかなった。</p>					
助成金を使用した成果に関する発表（インターネットに公表されている場合は URL を記載すること。）					
<p>樋田有一郎, (2019.3.9), 「都鄙間高大協働研究活動と異文化感受性発達—聞き書き教育に関する実証的研究—」 2018 年度 早稲田大学教育学会大会, 早稲田大学, 2019 年 3 月 9 日.</p> <p>HIDA, Yuichiro, (2018.11.12), "Population decline and changes in education in rural areas in Japan," SYMPOSIUM: Rethinking of an educational value system aiming for the sustainable development of rural areas in Japan, Educational Research Association of Singapore Asia-Pacific Educational Research Association International Conference 2018 (ERAS-APERA Conference 2018), Nov 12-14, 2018, National Institute of Education, Singapore. [symposium]</p>					